

平成26年度 第1回生駒市障がい者地域自立支援協議会  
会議録

開催日時	平成26年7月18日(金) 午後2時～午後4時
開催場所	生駒市役所4階 403・404会議室
出席者 (委員)	神澤委員、梅川委員、関谷委員、辻村委員、吉田委員、岩元委員、上村委員、幸元委員、新谷委員
欠席者	安田委員
事務局	福祉部長 坂本、障がい福祉課長 平尾、障がい福祉課課長補佐 鋤田、障がい福祉課障がい福祉係長 坂田、障がい福祉課支援係長 石倉
案件	(1) 生駒市の障がい福祉について (2) 相談支援事業の実績報告及び概況報告について (3) 平成25年度の部会活動報告及び平成26年度の活動について (4) 生駒市障がい者福祉計画の概要について (5) 市民アンケートの結果について
事務局	(開会) 平成26年度の生駒市障がい者地域自立支援協議会の開会。今年度最初の協議会開催のため、正・副の会長職選出までの間、事務局で進行。開会に際し、生駒市福祉部、坂本部長からの挨拶。 【部長挨拶】
事務局	次第3、委員の紹介。 学識経験者、帝塚山大学心理学部教授 神澤委員。 保健・医療をはじめ障がい者を取り巻く職種からの代表、生駒市医師会代表 梅川委員。 障がい福祉サービスを提供する事業者の代表、社会福祉法人 いこま福祉会理事長 関谷委員。 社会福祉法人 宝山寺福祉事業団理事長 辻村委員。 NPO法人 あけび理事長 吉田委員。 障がい福祉団体代表、生駒市身体障害者福祉会会長 岩元委員。 生駒市障がい児・者を守る連合会会長 安田委員。本日は欠席。 生駒市ひだまり家族会会長 上村委員。 生駒市民生委員・児童委員連合会代表 幸元委員。 社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会代表 新谷委員。 事務局職員を紹介。 坂本部長、平尾課長、鋤田課長補佐、石倉係長、坂田係長。
事務局	【次第4、障がい者地域自立支援協議会の概要について説明】 【次第5、会長・副会長の選任について説明】

委員	梅川先生を推薦。
委員	【意見なし】
事務局	副会長の推薦ですが、いかが。
委員	神澤先生を推薦。
委員	異議なし。
事務局	梅川会長を会長席へ促す。この後の議事進行は、梅川会長にお願いする。
会長	生駒市障害者地域自立支援協議会の会議次第、案件1 生駒市の障がい福祉について、事務局から説明を。
事務局	【資料2（7ページから12ページ）について説明】
会長	このことについて、質疑に入りたい。意見、質問等はないか。
委員	今の説明の最後の部分の、高卒後の受け入れ先が少ないというのは、以前から問題になっていたと思うが、それに対して施設が増える等の計画はあるのか。
事務局	施設の充実の話ですが、行政がそういう施設を建設する、また直接運営することは好ましくないと思っている。ただ、民間事業者の活力を利用し充実した運営を図ってもらえたらと感じている。施設をつくる場合、すべて民間の事業資金等ということではなしに、国や県の補助金や市も一定額の補助をすることは出来る。
会長	他に意見、質問等はないか。
委員	市の説明があったように、重度の方の施設が不足していることに関し、私どもも感じている。岩元委員の質問の回答にもあったように、事業所がやっていくことに関して、支援や助成を考えるということだが、市の土地を提供する等の考えはないか。
事務局	市の未利用地を提供することはありうる。ただ、未利用地の整備が進んでおり、土地利用を有効に図れるような未利用地は現在少ない。それとは別に、重度ではないが、公共施設を利用した福祉施設の設置は今後ありえる。今、山麓公園に就労支援施設として、事業所指定を被せて就労支援を充実させようと考えている。基準等が緩和されていけば、公共施設を重度の施設に利用できないか検討していければと思っている。既存の公共施設と福

	社施設を共用できないかを探っていきたい。
委 員	具体的にあるのか。
事務局	今のところは山麓公園での就労支援を考えている。
委 員	就労支援も大事なことなので軽度の方にはすごくいいこと。一方、重度・強度障がいの人、昨年も実際に卒業間際まで行き先が決まらなかったことも事実。来年再来年も卒業してこられますが、現場を預かっている私どもの自助努力も必要だが、法人だけの自助努力だけでは限界がある。今回の策定委員会の中で検討していきたいと思います。
委 員	高齢者の話だが、要介護者の認定者数と障がい者数が似ているということだが、身体障がいや精神障がい重複している人が多いのでは。重複の把握の方法はあるのか。
事務局	手帳の重複は把握している。精神と知的、精神と身体など。介護認定と手帳所持とはデータが違うのでわからない。重複した場合、障がい福祉サービスは介護サービスの方が優先される。
委 員	【了承】
会 長	他にないか。
委 員	私は、精神障がい者の家族会で活動しているが、コスモールいこまが昨年でき、1階がパン工房、2階が相談事業、3階が生活支援センターと分野で分かれている。以前と比較すると広がったが、一箇所しかなく狭い。行ける人はいいが、行けない人が大多数いる。財政的なものもあるでしょうが、障がいのある人たちも生きやすい、暮らしやすい、と良くなってほしいということが私たちの希望。全国の市町村での自治体ごとの特徴はあと思う。ぜひ皆様方のご意見を賜りたい。
会 長	これに対し事務局はいかがか。
事務局	何でもできないということではなく、先ほど申しあげました方法で福祉施設の充実を図りたい。
委 員	生駒市は関西で一番住みやすい街を創ろうとあるが、これらは、障がい者も含めてのことだと思う、先ほどの意見も踏まえ、いろんな手立てをお願いしたい。
会 長	皆様の意見が、すぐには無理だが、前に進む方向性は生駒市として示して

	<p>もらえれば、いろいろな施設の相互の協力体制などを考えて、行政が指導するとなって初めてこの委員会も生きてくる。他に質問は？</p>
委員	<p>傾向と課題のところ、法的に創設されるサービスの多様化に対して、サービスの提供元が絶対的に不足している、と書いているが、この法的に創設されるサービスの多様化とは、具体的にはどういうサービスを指しているのか。児童福祉法に規定されている法的に創設サービスは何があるのか。</p>
事務局	<p>児童福祉法の改正に伴う放課後等デイサービス事業はニーズに追いつかない状況。昨年かざぐるまやぷろぼのが事業所を開設したが、まだまだ需要は伸びている。奈良市や大和郡山市に通わなければならないケースもある。また、グループホームなどの受け皿や相談支援の計画策定が義務付けられている相談なども少ない。これは、生駒市だけの問題ではなく奈良県も含めた問題だと思う。次々新しいサービスが作られていくので、追いついていかないと感じている。相談員の意見をまとめ記載した。</p>
委員	<p>放課後等デイサービスは、かざぐるま等で増やしてもらったが、放課後等なのだから、学校が力を入れるべきではないか。障がい福祉部局と教育委員会部局が連携して、空き教室を活用してはどうか。</p>
事務局	<p>辻村委員の意見は痛切に感じている。少子化に向けて、空き教室は出てくるのだが、福祉目的に転用するのは、制度的な難しさがある。</p>
事務局	<p>養護学校、特別支援学校が市内にはない。地域の学校の特別支援学級に通っている人は、地域の学童とか学校で完結と思っているが、放課後等デイサービスは急増している。</p>
副会長	<p>その人たちは、学齢を過ぎれば行くところがないという問題がある。全体で考えないといけない。いろいろ工夫をしていけば見えてくるかも。</p>
委員	<p>制度の壁を壊していかないと。</p>
会長	<p>生駒市も縦割りではなく、多方面と連携を図ってもらい、真に必要なサービスが提供できるよう努力をお願いします。</p> <p>平成25年度の部会活動報告及び平成26年度の活動について事務局から説明を。</p>
事務局	<p><b>【資料3から資料8（14～78ページ）について説明】</b></p>
会長	<p>何か質問、意見はないか。次に、生駒市障がい者福祉計画の策定について。事務局からの説明を。</p>

事務局	【資料9・資料10（81～109ページ）について説明】
会長	何か質問、意見はないか。なければ事務局から連絡事項を。
事務局	【資料11（113ページ）今後のスケジュールについて説明】 次回、第2回協議会は9月10日(水)午後2時を予定。
会長	協力のもと無事終わることができた。長時間ありがとうございました。  (終了)